

4月1日から10月31日まで

ATMの営業時間が変わります!

店舗名	平日	土曜日	日曜日・祝日
イチャン本所	9:00~18:00	9:00~17:00	9:00~17:00
金融共済深川支所		9:00~12:00	
金融共済春江支所			
金融共済納内支所	9:00~17:30	稼働しません	
金融共済多度志支所			稼働しません
金融共済雨電支所			
金融共済北電支所	9:00~18:00	9:00~12:00	
北電町COCOWA			
金融共済槻加内支所	9:00~17:30		

※各店舗(窓口)の営業時間は、イチャン本所、深川支所、雨電支所、北電支所、槻加内支所> 平日9:00~16:00(変更なし)
 <春江支所、納内支所、多度志支所> 平日 午前の部 9:00~11:30 午後の部 12:30~16:00
 (11:30~12:30は昼休み(窓口閉鎖)とさせていただきます)
 ※祝日の影響により営業を休止させて頂く場合がございます。くわしくは下記までお問い合わせください。
 金融共済部(貯金・融資) TEL:0164-22-6618

JAきたそらちYouTube
きたそらちちゃんねる

JAきたそらちでは、YouTubeで様々な情報を発信中!!
 きたそらちの魅力を発信していきますので、チャンネル登録・高評価をお願いします!



読者の声

「ほっときたそらち」にお寄せいただいた
ご感想の一部を紹介します! 前回のほっときたそらち
第9号「深川牛」より

今年、ある機会に深川牛を頂いて久しぶりに食べました。美味しかったです。米ぬかが育ちだったんですね、牛肉は野菜とも相性がいいです!...深川のご馳走になるといいですね。編集後記、うなづけました。子どものとき、乳牛を両親が育てていたの、うなづけました。(深川市 60代 女性)

深川の牛は乳牛のみ育てられていると思っていたので深川でブランド牛(肉牛)が育てられていることにビックリしました。ぜひ深川牛食べてみたいです。(深川市 40代 女性)

「深川牛」お米を使って育てられているんですね。なかなか購入の機会がないのですが道の駅、行きます!美味しい焼き食べたいです。これからは「深川牛」の知名度を広めて頂いて下さい。応援しています。(深川市 70代 女性)

農家をやめて20年以上になります。今は機械化になりビックリです。今日も近所からコンパインのエンジンの音がしています。若者「ガンバレ」、きたそらちを応援しています。(深川市 80代 男性)

私はよそから移住してきたこともあって深川のことはまだ詳しくなく、こんなに丁寧に手をかけて牛を育てていることを初めて知りました。今回の誌面で道の駅で販売していることも分かりましたので頂いてみようと思います。畜産農家の皆様どうぞお身体を大切に。(深川市 70代 女性)

深川生まれ深川育ちの「深川牛」、農家さんのギューギュー詰めの愛情と私たちの元へ届くまでのご苦労をしみじみ思いました。ハレの日や久しぶりに家族が揃う時にちょっと贅沢をして牛肉を用意します。モウ、皆の笑顔が嬉しくて。食べて応援深川牛。(深川市 70代 女性)

「ほっときたそらち」プレゼントクイズ

問題

「農業」と「福祉」が連携した取り組みの名前は?

ヒント、漢字4文字

正解者の中から、抽選で10名様にきたそらち産米 5kg をプレゼントいたします!

応募方法

JAきたそらちホームページ特設応募フォームまたはハガキ、FAXで、①クイズの答え②住所、氏名、年齢③「ほっときたそらち」に対するご意見ご感想を記入の上ご応募下さい。締め切りは4月30日消印有効で、クイズの答えは当JAのホームページ・Facebook・Instagram上に5月中旬に発表します。なお、当選者の発表につきましては、商品の発送をもってかえさせていただきます。

【送り先】

〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
 JAきたそらち 農業振興部 営農企画課
 FAXの場合は 0164-22-1228

JAきたそらちホームページ特設応募フォーム

URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

締め切り
4月30日
消印有効



編集後記

「農福連携」は、農業期等の人手不足解消&障がい者の楽しみや生きがいへ繋がってとても良い取り組みだと改めて感じました。コミュニティ誌の制作にあたり4件の福祉施設へ取材をさせていただきましたが、利用者の方へ「農作業は楽しいですか?」と聞くと迷いなく笑顔で「楽しいです!」とお返事を頂けたことがとても印象に残っています!JAきたそらちでは、今後も「農福連携」の取り組みを行ってまいります!



ほっときたそらち

ノウフク

NOUFUKU-PROJECT



共に、働く。
のうぶくれんけい
農福連携



「農福連携」ってなあに??

農福連携とは「農業」と「福祉」が連携した取り組みのことです。農福連携の取り組みは、障がいを持つ方等が「農業」の分野で活躍することができ、自信や生きがいを持つことに繋がっています。また、担い手不足や高齢化が加速する農業分野においても新たな働き手の確保へ繋がる取り組みとして注目されており、JAきたそらち管内でも10戸の生産者が農福連携の取り組みに参加しています。今回は、障がい者と健常者の垣根を越えて共に働く「農福連携」をご紹介します!!

わたしの町の 農福連携

ちょこっと
豆知識♪

就労継続支援A型

障がい者(家族)と、雇用契約を結び働く機会を提供する事務所。さらに就労に向けて知識やスキルの訓練などをサポートします。給料として最低賃金以上の金額が保障されています。

就労継続支援B型

雇用契約を結んで働くことが困難な障がい者の方が、軽作業等の就労訓練をする事業所。給料は、工賃として支払われます。

農福連携実現までの流れ

01 作業依頼

福祉施設へ作業を依頼したい生産者から、当JAへ連絡が入ります!

02 事前打ち合わせ

JA職員が生産者から作業内容、請負可能な場合はJA職員と作業場の確認を行い、作業

03 作業実施

作業実施時は、施設の支援員が障がい者と同行します。生産者から指示を受け、障がい者に指導も行います。

04 請負作業料

生産者から、労働の対価として報酬(工賃)をお支払いします。

JAきたそらちは
農業の労働力確保だけでなく
障がい者が地域や社会とつながることを目指し、
農福連携に取り組んでいます。
作業の依頼を希望する方は
JAきたそらち農業振興部営農企画課まで!
TEL 0164-26-0134

障がい者を受け入れる際の心得

- 障がい者が作業に慣れるまで時間がかかることも
- 複雑な作業が苦手な方もいます。作業の内容をわかりやすくするため、いくつかの工程に分けて分担する工夫も必要です!
- 慣れていない農作業に戸惑う場合があります。支援員に対して具体的に作業内容を伝えることが必要です。
- コミュニケーションをとり心地よい人間関係を築

あります。時間・作業量に余裕をもった依頼をします。作業実施時は、施設の支援員が障がい者と同行します。生産者から指示を受け、障がい者に指導も行います。



9:00	施設に出勤
9:00~ 9:30	出発準備・現場へ出発
10:00~12:00	作業(午前の部)
12:00~13:00	昼休憩
13:00~15:00	作業(午後の部)
15:00~15:30	準備・退勤

NPO法人 深川市手をつなぐ育成会 深川ディスプレイ ふれあいの家

ふれあいの家

利用者数：38名
就労継続支援B型事業所



▼施設外就労の様子



作業が丁寧で、一生懸命なのが伝わってくる。大変助かりました。苗箱洗いの他に苗はがしの作業などをお願いしたいと思います。今年も継続したいです! (多度志地区 生産者Eさん)

初めての体験・新しいことへ挑戦できること、さらに「働く」対価として給料をもらって利用者は「やりがい」を感じています。農作業の際には「行きたくない」「この仕事は嫌」と拒否をする人はおらず生産者の協力もあり、いきいきと作業ができています!

農作業・たいやき販売を通して地域の方とのコミュニケーションを取ることを大切にしています♪
(ふれあいの家 佐藤 進太郎 係長)

農作業はとても楽しいです。冬は寒いので完全防備で作業をしています! たい焼きについては、沢山買ってもらった時が一番うれしいです!



たいやきCOCO チーフ
松岡 達哉さん



たいやきを販売しています! 移動販売にも力を入れています! 皆さまぜひご賞味下さい♪

一般社団法人 きたそらち ウェルフェアリンク アグリーン妹背牛

アグリーン

利用者数：19名
就労継続支援B型事業所



▼施設外就労の様子



とても助かっています。農作業に来て下さっているアグリーンには大変感謝しています!
(音江地区 生産者Wさん)

施設外就労の際、利用者がどのような目的をもって作業に臨んでいるのかを把握してサポートしています。

最近では作業にも慣れてきて、生産者が指示をしなくても意図して作業が出来るようになってきました。利用者たちも「楽しい」「これからも続けていきたい!」と話しています。1回で指示を理解できなくても、繰り返し伝えることで、きちんと作業が出来るようになります!

また、農福の最終的な目標の中に「就職」があります。就職に繋がるように今後、もっと実績が増えることを願っています。



(アグリーン妹背牛 職業指導員 高橋 裕之さん)

アグリーン妹背牛では、水耕栽培で無農薬のレタスを栽培しています!! 利用者の方が、施設の中でも作業をしていました♪



一般社団法人 創生会 夢工房

夢工房

利用者数：5名
就労継続支援B型事業所



▼施設外就労の様子



作業スピードも問題なく、助かっています。一人ひとり得意なことが違うので難しい面もありますが、支援員とまめに連絡をとりながら今後も続けていきたいです! (音江地区 生産者Nさん)



利用者は、なかなか私たち以外で外(社会)との繋がりがありません。一般就労に向けて町の人と会話をするや仕事の経験を積むことはすごく重要で、施設の中だけでは培われないこともあるので本当に助かっています!

お花が好きな利用者は、生産者の方とお花についての会話を楽しみ、JAでの箱作りが好きな方は黙々と作業に集中しています。みんな作業を楽しみにしているようです♪ 利用者のコンディションなどを把握し、生産者の方と連絡を密に取りながら今後も続けていきたいです。
(夢工房 原 やよいさん)

コツを掴むまで、スターチス(花)の葉っぱを取る作業が難しかったですが、農作業が好きなので、楽しく作業をしています! 現場で働いている人を見ることも楽しいです。



夢工房の利用者の方▲



▲プレスレット販売中!

深川市にある事業所でプレスレット販売中です♪ また、夢工房では外との関わりを持つことを積極的に目指しています!

株式会社 CONNECT (滝川市)

コネクト

利用者数：23名
就労継続支援A型事業所



▼施設外就労の様子



利用者の方は農作業を生きがいに感じて、いきいきと作業を行っています。集中力が高く、もくもくと作業をするため、「あの子すごく働くね!」と現場のパートさんに褒められることもしばしばあります。また、太陽光には「セロトニン」という脳内物質を分泌する力があり精神面でも外に出て作業をすることはとても良いことです。さらに生産者の繁忙期の人手不足等にも貢献でき、お互いに相乗効果のある取り組みだと思えます。

みんな一人の人間なので、農福連携を通じて障がい者と健常者の垣根を無くし、さらに障がい者の居場所が広がっていけばと思います。

(株式会社CONNECT 長藤 秀飛 部長)



青果部

青果部で農福連携の取り組みを始めたのは平成30年からです。作業についてはスピード・正確性ともに問題なく、人によって得意なこと苦手なことがあると思いますが、障がい者のみなさんは自分に与えられた作業に真摯に取り組み、その姿に生産者の皆さんも感謝しています。また、事前に各事業所の支援員の方と、就労者がどんな作業であれば可能かを密に協議、それを試験的に実施し可否を決めるようにしています。難易度の高い業務については農業振興部と連携し、作業内容をわかりやすく説明した画像を掲示したりという工夫をしています! 簡単な工夫や配慮で出来る作業は大きく膨らみます!

生産者と障がい者がお互いにより良くなる様に「農福連携」を継続していきます!!



青果部
河原 秀昌 課長